

季節性インフルエンザワクチン接種のすすめ



季節性インフルエンザは発熱や咳などを主とした呼吸器感染症の一種で、12月から3月を中心とした冬季に流行を起こします。インフルエンザの予防にはワクチンが有効です。

インフルエンザワクチンの発症予防効果は、約70～80%と発症を確実に予防するものではありませんが、肺炎等の重症化への進展を阻止することが知られています。ワクチンは接種後少なくとも2週間たないと効力が発揮されないため、ワクチンの接種は本格的な流行が始まる前の12月中旬ごろまでに終わっておくことが大切です。

■ ワクチン接種の時期：

11月16日（月）～ ワクチンなくなり次第終了

* **予約が必要です。** 早めの予約をお勧め致します。

受付にお申し出下さい。

■ ワクチンの接種料金： **¥3,150** — （税込み）

自由診療の為、保険が利きません。

■ 特にワクチンをおすすめする方

ハイリスク群：①妊婦（妊娠中の方は特におすすめします。妊娠初期の方でも接種できます。） ②授乳中の方もおすすめします。 ③50歳以上（65歳以上は法定接種） ④施設入所者 ⑤基礎疾患を持つ小児及び成人（気管支喘息・肺気腫・心疾患・糖尿病等） ⑥乳幼児、特に、6～23ヶ月の乳幼児

■ ワクチンを受ける際の注意：重症の卵アレルギーの人、以前にインフルエンザワクチンによるアレルギー反応その他の問題のあった人は受けられませんので、ご注意下さい。

* 15歳未満のお子様は、小児科にて接種をお願い致します。



**新型インフルエンザワクチンについては
別途、後日ご案内申し上げます。**